



新潟教区報 第117号
2017(平成29)年5月20日発行



本願寺新潟別院とんこいフェスタ



日時 平成二十九年三月二十六日(日) 十五時十五分〜十八時三十分まで
会場 本願寺新潟別院(参加者七十四名)
内容 音楽礼拝・法話・ライブイベント・夕食交流会・灯火の集い

「お寺って楽しいね」

子ども・若者ご縁づくり推進部会委員 新潟組金照寺衆徒 洪野 明子

子ども・若者ご縁づくりの取組み一環として、身近にあるお寺(僧侶の方々)と若い世代を中心にするすべての方々とのご縁を作り、つなぎ、深めるための行事として三月二十六日に新潟別院で「とんこいフェスタ」が開催されました。

まず、西念寺ALLSTARSさんのライブでは、迫力のある演奏で盛り上がりました。家族でのバンド演奏と心温まる雰囲気の中、一時間があっという間でした。

その後、和室にてお好み焼き・たこ焼きパーティーを行いました。和室いっぱいの方々の参加をいただきました。ホットプレートを囲んで大きなお好み焼きを作ったり、たこ焼き作りでは「自分で焼くと美味しいね」と笑いあいながら、子どもたちの楽しそうな声が部屋いっぱいに響き渡りました。パーティーの終わりには皆さんお楽しみの豪華景品が当たるビンゴ大会で、またまた盛り上がりました。

最後の「ともしびのつどい」では柔らかなロウソクの光の中、子どもたちが真剣に小さな光を見つめていました。阿弥陀さまのお心が少しでも伝わればと感じました。これを機に子どもや若者がお寺にまた来たいなど思ってもらえるご縁になればと思います。

『若い世代に対する「過去帳またはこれに類する帳簿」の管理や取扱いに関する研修会』

日時 平成二十九年三月十七日(金)十三時三十分～十六時四十分
会場 本願寺新潟別院(参加者十八名)
講師 小川 真理子 さん(財団法人同和教育振興会評議員)

同朋部会委員 与板組常禅寺住職 旭 勲

三月十七日(金)、標記の研修会が新潟別院で開催されました。対象者を「一九九七年度以降に得度をされた僧侶」とし、新潟教区では一二五名が該当となりました。「一九九七年」というのは、新潟教区において、法名・過去帳調査が実施された年であります。以降に得度された僧侶に対して、調査に到った経緯や過去帳の記載事項、管理方法についての学びを継続すべく、若い世代を中心とした研修会が開催されました。私も対象となり、参加をさせていただきましたが、当日の参加者は十八名と少なく、同朋部会等を除いた実質の参加者は十一名でありました。それだけでも教区内僧侶の「当事者意識」の無さがあらわれていたように思いました。私自身の経験からも、自坊内で過去帳等について話しを聞いたことが無く、危機意識もなく扱っていたように思います。しかし学びをすすめていくにつれて、過去帳の持つ重要性や、身元調査等に利用される危険性などを知り、管理者として責任の重さを実感しました。

そのようなことを学ぶ貴重な研修会に参加が少ないことに、また別の危機感を覚えました。「学ばない」ということは「知らない」ということではないでしょうか。僧侶自身が「知る」ことがなければ、ご門徒やその他の方々からの問い合わせに対し、答えることもできないのではないのでしょうか。それによって新たな差別を生み、加害者(当事者)となっていくことにつながっていくのだと思います。

差別による新たな被害者を生まないために、また、私自身が加害者とならないために、正しく学び、確かな知識を得ていくことがとても大切だと思います。何が差別であるのかを見抜く確かな学びを続け、お互いのいのちの尊厳を傷つけることのない社会の実現をめざすことは、念仏者の責務であります。そのためにはまず「私」が学んでいかななくてはいけないのだ、という意識を持ち、取り組んでいきたいと思えます。

参加者の声

与板組明元寺住職 中院 法栄さん

人生には、三つの坂があると聞きます。登り坂、下り坂、そして「まさか」。参加者が少なかったのは皆まさか自分が・・・と思っていたからではないでしょうか。

そういった意識も含め、あらためて過去帳ならびに個人情報管理のむずかしさ、そして大事さを学ばせてもらった研修会でした。

三條組西福寺衆徒 皆川 賢太郎さん

過去帳等が身元調査に利用されてきたという事実は、それは言い換えれば私たち僧侶も、身元調査に積極的に加担してきたということだと思います。そのことを深く認識し、念仏者として、御同朋の社会をめざしていくために「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)の重要課題として、過去帳の取扱いについて真摯に取り組んでゆく必要があると、今回の研修会で学んだことです。

三條組福勝寺衆徒 黒田 宙さん

過去帳問題について学ぶ機会は教区、組と何回かあるが毎回新たな気づきがある。取り扱い基準もそうだが、人権問題と重なる部分が多く、差別問題に取り組むのと同じことである。昔から仏教は邪魔になるまで聞きなさいと言われていたのだ。何回も何回も聞いて自分の嫌なところが見えてくるまで仏教は聞き続けなければならないのである。過去帳問題も同じであり、もう十分だということはない。それが御門徒の信心の記録であるならばなおさら、学び続けることが大事なのである。



新潟教区作成・啓発ポスター2種
(ホームページからダウンロード可能)

「願われている私のいのち」

巻組萬榮寺住職 丸山 文雄

世界の宗教の中、私からお願いするのでなく、絶対者である仏様から願われている教えは唯一真宗の弥陀法だけです。弥陀の願いに包まれてある私たちのいのちです。

晨朝勤行（朝のお勤め）は因縁生起（主たる原因と間接的条件である縁によって生じる存在）の理により今日、新たないのちを戴き、一時も無駄なく燃やし尽くす一日のスタートなのです。晨朝勤行は「祈り」でも無くお願いでもありません。

私達をお願いする前に、「たすかってくれ」「気付いてくれ」と願っておられる仏様なのです。朝、新たないのちを恵まれ、驚きの一日が始まるのです。今日一日感動の始まりを、阿弥陀様と御一緒でした、有難うと手を合わせ御礼申す事が朝事です。

また、一日を終える時「お夕事」で阿弥陀様に今日の事を報告させてもらうのです。阿弥陀様の本願は、本当の願い、この世の寿命が終わった時、この私に悟りを得させ、浄土に生まれさせ、仏に成らせる願いなのです。ですから「あなたの一日が感動の一日であれ」と願われ、親鸞聖人は「自分の命に鋭敏になれ」と私に呼びかけられているのです。

一日一日を大切に、真剣に生き切らねば申し訳ないことです。阿弥陀様からの喚びかけ（本願）に鋭敏に反応する練習、訓練が必要となって来ていると思います。

称名念仏

真宗教団連合新潟県支部公開講演会

日時 平成二十九年三月二十九日（水）十四時～十六時まで
会場 本願寺新潟別院（参加者百一名）
テーマ 講談「若き日の親鸞聖人」「親鸞聖人の妻・恵信尼様」
講師 旭堂さくらさん（講談師・歌手・浪曲師）

「夫婦の理想像」

新潟組林徳寺衆徒 眞谷 直子

「親鸞聖人の講談？」

初めてその存在を知り、是非にもと参加させて頂きました。講談師旭堂さくらさんの朗々とした声で語られた親鸞聖人と恵信尼様のご生涯。分かり易くまた、胸に迫る語り、心を奪われました。

特にお二方が互いに相手を観音菩薩の化身と思われたいというくだりには、まさに理想の夫婦のあり方をお示しいたできました。

改めて、不平不満ばかりのわが身を思い知らされ恥じ入るばかりです。講師の先生は浪曲やご自身作曲の歌などいろいろご披露下さり、エネルギーが別院本堂に満ち溢れていました。

宗派を超えて親鸞様のみ教えを聴かせていただく良いご縁に恵まれました。



歌の披露



講談の様子

寺院巡り

元上組 願念寺

毎年四月二十九日に春のお講、十一月三日に報恩講、その他には年始のつどい、盆参を開催しておりますが、例年七十人ぐらい集まっております。豪雪地であり、遠隔地のため、教区や組の活動はあまり参加できません。今後は婦人会や壮年会などの組織が出来れば、と考えています。



教育基本法には公立学校では宗教を教えてはならないとの規定がありますが、この頃、悲惨な事件が起こるのを耳にするたび、お釈迦さまの教え、仏教がもっと身近であったならば、状況は変わっていたのではないかと思うことであります。私自身、生活の糧として「二足のわらじ」の毎日を過ごしており、申し訳なく思っております。今後ともご指導をよろしくお願ひします。

※願念寺ご住職 岩田忠孝さんは平成二十九年五月に往生されました。三月にご執筆いただいた本原稿が遺稿となりました。

ラジオ法話 新潟教区布教団による ラジオ法話

F Mながおか 八〇.七 毎週月曜(金曜) 十六時十五分より放送中です。
(放送地域は長岡市全域、小千谷市、小国、川口、山古志、出雲崎、(免附))

○今後の予定

ご関係の皆様、多くのご参拝、ご参加をお待ちしております。

・門徒推進員連絡協議会総会

日時 平成二十九年 六月十一日(日) 十三時三十分より
会場 本願寺新潟別院
テーマ 『お念仏をいただく人生(門徒推進員としての歩み)』
講師 伊藤 教恵 さん(本願寺派布教使・巻組長光寺住職)

・門徒総代会研修総会

日時 平成二十九年 六月十四日(水) 十三時三十分より
会場 本願寺新潟別院
テーマ 『伝灯奉告法要ご親教「念仏者の生き方」に学ぶ』
講師 上戸 聡 さん(本願寺派布教使・与板組隆泉寺住職)

・新潟別院御取越報恩講

日時 平成二十九年 六月二十五日(日)〜二十七日(火)
講師 三寄 霊証 さん(本願寺派布教使・福井教区)

お知らせ



別院渡り廊下の男性用・女性用・バリアフリーのお手洗いに温水洗浄便座を設置いたしました。

教区・別院ホームページ↓

アドレス: <http://nkyouku.jimdo.com/>

Email: nkyouku@aroma.ocn.ne.jp

編集/浄土真宗本願寺派 「御同朋の社会をめざす運動」新潟教区委員会 広報部会
〒九四〇―二四〇二 新潟県長岡市与板町与板乙四三五六 本願寺新潟別院内
TEL: 〇二五八七二二二二〇 FAX: 〇二五八七二二二五三六